

歴史的建造物の保存・活用と防火対策

～火災から文化財を守る術を学ぶ～



■毎年1月26日は、「文化財防火デー」です。文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺（奈良県斑鳩町）の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づいています。文化財を火災、震災その他の災害から守るとともに、歴史的な価値を有する建造物を継続的に保存・活用するためには、構造的な安全性とともに防火・避難上の安全性が重要なポイントとなります。

京都の町屋など伝統的な木造建築物を火災から守る術の研究、実践の先駆者である安井昇氏を講師にお招きして歴史的建造物の保存・活用と防火対策について学びます。

日時

平成27年1月26日（月）
14:30～16:30

会場

コンパルホール多目的ホール
入場 無料

講師

安井 昇 氏



（講師プロフィール）

1968年 京都市生まれ
1991年 東京理科大学工学部建築学科卒業
1999年 桜設計集団一級建築士事務所開設
2004年 早稲田大学工学研究所研究員
「京都西陣の町家再生
～その構造・防火・温熱環境性能の検証」で
木の建築賞大賞等



■主催 公益社団法人 大分県建築士会（建築士会 CPD2単位認定講習）
後援（予定）大分県・大分県教育委員会ほか

■申込方法 資料準備の関係上、あらかじめ別紙申込書にご記入の上、1月22日（木）までに、大分県建築士会事務局までにお申し込みください。

「歴史的建造物の保存・活用と防火対策」

～火災から文化財を守る術を学ぶ～

講習会受講申込書

平成 年 月 日

FAX番号 097-532-6635

E-mail info@oita-shikai.or.jp

ふりがな 受講者氏名	
連絡先等	勤務先等名称： _____ 電話番号： () - _____ FAX番号： () - _____